

第 556 回 放送番組審議会

1. 日 時 2019 年 10 月 15 日 (火) 午後 0 時 45 分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 7 名

委員長	恒川 かおり
副委員長	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	柿木 康孝

欠席委員 2 名

委員	高橋 司
委員	石田 亨

社側出席者

榎野 信治 (代表取締役社長)
青山 尚之 (専務取締役事業局長)
池田 学 (取締役経営企画局長 兼 技術局長)
柴柳 二郎 (報道制作局長)
桑島 広実 (報道制作局次長兼制作部部長)
佐藤 健 (東北映像 制作事業部専任部長)

事務局

畑山 篤 (取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)

4. 議 題

1. 9/13(金) 19:00～19:56 ここにラグビーがあるということ～釜石・ウェールズ～
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見
- ・2019年度4月～9月第3週 種別放送時間合計

6. 意 見

委員側意見

- 釜石とウェールズのチームには非常に共通点が多いと感じた。これを単純に釜石だけのラグビーという紹介ではなく、ウェールズをピックアップして番組として取り上げていただいた、というのは非常に素晴らしかった。
- ナビゲーターの柚月さんは、すごくはっきりした滑舌のいい方で、ナビゲーターに本当にちよどいい方、好感度の高い方だと思った
- ウェールズはすごくラグビーが定着しているというか、生活に密着しているというのがよくわかって、7万人のスタジアムとか、子どもから大人までのクラブチームの練習風景であるとかを見るにつけて、本当にラグビーが文化になっている様子がよくわかった。
- ウェールズはどうしてもイングランドとは違ってちょっと馴染みの薄い地域なので、ウェールズの人にとってラグビーが尊いものであれば、ウェールズの国民にとってラグビー選手がどんな存在なのかとか少し掘り下げてもらえば、その後から見るワールドカップやウェールズに対する興味や意識も変わったのかな、とも思った。
- (自分自身は審議対象番組ということで、複数回視聴したので)イギリスという国から4つのチームが出ているな、という素朴な疑問があつて、構成国の歴史なり背景というのに触れることができた。しかし一般の方は一度しかご覧にならないので、もう少し歴史的な背景というのを最初にバンと出していただけると伝わりやすかったのかな、と思った。
- 釜石やウェールズとは異なって同じラグビーでも上流階級や中流階級のラグビーもあるということを知ったので、ぜひ週末の決勝ラウンドではそれぞれのチームの背景というものを見ながら、楽しみたいというふうに思っている。
- やはり日本人に伝わりにくいなと感じたのが、イギリスでの労働者階級が中流階級の下という階級の感覚というもの。ここを掘り下げていくとまた釜石とは違ったウェールズのその重みというか、歴史の重みというものに踏み込めたかもしれない。
- 柚月さんのなさっていた質問というのはやはりご自身の質問なのか、局側がシナリオを書いてお話しいただいたのかというのはちょっと興味があるので教えていただけたらなと思った。
- ラグビーが人を引き付ける力を持っていて、そこでやはりみんながそれぞれの役割を果たさないと命にも関わるくらい危険で、その中で果敢に向かっていく。過去の試合の映像とか本

当に貴重な映像を映して、本当に素晴らしいなあというふう感じた。

局側意見

- 構成国とかについてはちょっと整理したほうが良かったなというふうに思います。
- 柚月さんの質問はロケに入る前に狙いなどはお伝えしているが、まず柚月さんの言葉で聞いていただいて、我々がここをもう少し掘り下げてほしいと思う場合はその場で柚月さんにお問い合わせするという形をとっている。
- 視聴率は5.5パーセントだった。高いか低いかというと我々としてはもう少し取りたかったというのが正直なところだ。
- イギリスの構成国のことや階級については確かに馴染みのないもので掘り下げたいところだったが、歴史そのものや歴史とラグビーについては現地の人にも色々な意見があったので今回は深くは入れなかった。
- 今日は素晴らしいお言葉をたくさん頂き、作り手としてはとても励みになる機会を与えていただいた。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 10月22日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>